



HSK
みなつき
水無月号
NO.163 2014.6.10号
Advocate

1973年1月13日第三種郵便認可 HSK通巻番号507号
発行/2014年6月10日(毎月10日発行)
編集者/我妻 武
住所/〒063-0812
札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMOI F
特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ
TEL 011-633-6666 FAX 011-613-9323
H P <http://npolife.net/>
発行/北海道障害者団体定期刊行物協会
定 価/100円



共同連全国研修会in東京 参加報告



たねや所長 村上 千春

②共働という言葉から浮かぶものでは、“対等・相互扶助・同一賃金”等が上げられ、特に、同一賃金を実践しているわっぺの会に話が集中しました。自己犠牲でも自己満足でもなく、それぞれが自分の役割を進んで引き受ける——言葉でいうのは簡単ですがこれがなかなか難しい…… ——皆が同じ意識のもとで共に働いている現場は、きっと生き生きとしていることでしょう。

その他、くれおカレッジ（共生シンフォニー）の、知的障害のあるかたにとっての大学のような役割を担う取り組みに共感する部分が多く、ぜひ見学させていただきたいと思ったこと、台湾の障害者就労の現状について知ることができたこと、わくわくかんで初めて就労移行支援の現場を見学させていただいたこと等々、勉強になることがたくさんありました。

これからの日々、自分から共働を発信し、つながりを広げていくという目標をもち実践していきたいと思います。

ライフの仲間、共同連の仲間がいるということ。

人と人とのつながりを大切に。



『東京の暑さを甘く見ていた！』一羽田空港に着いた時の感想です。5月31日から6月2日にかけて、共同連全国研修会・台湾台北市の庇護工場と社会的企業の報告会・NPO法人わくわくかんの見学というスケジュールで、北海道とはまた違う空気感のなか、充実した3日間を過ごしてきました。

共同連全国弁論大会と題された今回の研修は、実践現場の報告やそれぞれの想いが発表され、それらをもとに“共に働くとは？”を検討するかたちになっていました。昨年末の札幌での研修以降、意識しながら仕事をしていたつもりですが、失敗や反省の方が数多くあり…… また改めて自分を振り返る時間をもつことができました。

ディスカッションでは、

① “支援者と利用者”（ライフでいう、スタッフとメンバー）という言葉についてどう思うか？

②共働ということから浮かぶ3つの言葉は？
のテーマで話し合いました。

①のスタッフとメンバーという言葉は、日常で使用してしまっている自分としては、「差をつける言葉だから使わないほうがいいとは思いますが…」と言い訳しか出てこず、意識の低さを感じました。そういった言葉を一切使用しない人や、違和感をもちながらも、制度上やむを得ず使用するという人、他の言葉に置き換えているという人。共働を意識しながら実践している方々のお話が、本当にここに残りました。

NPOライフ 新人スタッフ研修会報告



理事長 我妻 武

今年度のライフの新人スタッフ（職員）研修を去る5月17日（土）行いましたが、今年度はイタリア映画の「人生ここにあり」（やればできるさ）の上映を行い、その後石澤さんによる講義「障害のある人ない人の共生・共働について」と、続けて私が「障害者の人権を守るために」ということで講義を行いました。

映画は、イタリアの精神障害者が施設という管理された世界から地域の中で働きながら自己実現を図っているというもので、コメディ風の仕上がりながら、障害者の置かれている状況や就労のことなどが描かれており、ライフにも共通する部分が多くあったため各自が食い入るように見ていました。

石澤さんの講義では、ライフのあゆみと考え方について説明があり、まだまだ一般化されていないが、障害のある人もない人も一緒に働ける場を作ること、さらに社会的困難を抱えている人とも一緒に仕事ができる場を作ることがライフの使命であることと、その実現に向けて一緒に頑張りましょうとありました。

続けて私からは国連・障害者の権利条約や差別解消法、虐待防止法、北海道障がい者条例などについて話し、障害者の人権や権利を守ることに大切さについてお話をさせていただきました。

その後の懇親会では、普段はなかなか一同に会することのない職員同士が自己紹介や仕事を関わるきっかけなどや映画の感想など、それぞれの持っている熱い思いを感じる事が出来た良い時間でした。



『新人研修会』に参加して

元気ジョブ 丹田 要

ここだけの話、「もしかしたら寝ちゃうかも知れないですよ…。」映画開始時間までの間、近くの人と私との会話でした。映画が始まり「おっ、字幕だ。これは気合入れないと…。」と座り直し、モニターに食い入るように見始めると… 予想に反して、どんどん映画に呑み込まれていき、あっという間にエンドロールの時間になっていました。

その後、石澤さんと我妻さんのお話を聞き、『障害を抱えた人と共に働ける場』を求めてライフにお世話になった私でしたが、まだまだ心の底では「支援する者」の立場にいる自分を再認識し、非常に情けなく恥ずかしくなりました。

「我関せず」や「他人ごと」という意識では共働や共生はできない。言って分かるなら障害ではない。分かってもらえないのは、伝え方（言い方）にも問題がある。

障害のある人に対してだけでなく、全ての人に対しても当てはまるお話でした。

環境や立場は違えども、この世に生を受けた私た

ち。何事にも表があれば裏もある。どんな人にも長所もあれば短所もある。そんな私たちがお互いの長所を生かしながら、そして短所を互いにサポートし合いながら生活していくことが、使命であり生きる意味なのだと思えて感じた研修でした。

「自分の常識は、他人の非常識」この言葉も心に残りました。自分の「ものさし」で物事を判断してはいけない。本当に勉強になった貴重な時間でした。

ありがとうございました。

共働を学んだ新人研修会

きばりや 五十嵐 沙彩

先日、琴似の本部にて新人研修会が行われました。その研修の中で私が印象に残った内容は、障害を持った人と平等に働くことが大切であるということです。障害があるから私達スタッフが指導をしなくてはならないという考え方ではなく、皆が同じ立場に立って働くということが必要だということを改めて気付かされました。

その人自身を尊重し、共に働くことがこの時代に必要ではないかと考えさせられるものでした。



○ 新人スタッフ研修会に参加して

たねや 野崎 友宏

5月17日(土)に開催された新人スタッフ研修会に参加させて頂き、イタリアでの実話を基にした映画の上映や、障害者支援に関する法律やライフ設立に至った経緯や歴史などを勉強し、非常に充実した時間を過ごさせて頂きました。

自身も入社してまだ1か月半ではありますが、今回の研修会に参加したことで、ライフとしての考え方や、「共働」とはどういうものかということを変更して勉強することで、自身の疑問を解消する良い機会となりました。

その中でも特に印象的だったフレーズが、「あなたの常識=私の非常識」であります。日々仕事をする中で、自身の過去の経験から一番効率の良い、そして一番良いと思うやり方を考え、職場の皆さんにも共有していたつもりでしたが、今回の研修を受ける中で、それはあくまでも自身の思い上がりであって、決して良いやり方ではなかったのでは… と思い直しました。十人十色ではないですが、当然ながら人それぞれのやり方、考え方があるはずなのに、業務の効率等を考えすぎるあまり、いつのまにか自分のやり方を押しつけ、そのせいで周りの人達が窮屈な思いをしていたのではないかと改めて反省しました。

先輩社員の皆さんが「仕事を楽しんで」と言われておりましたが、ここでしか得られない喜びや楽しみをこれからもっと経験できるかと思いますので、自身もこの仕事をもっと楽しみつつ、職場の全員がハッピーでいられるよう頑張っていきたいと思います。

○ 『ライフ』の一員として

もじや 星 力雄

5月17日、ライフ本部の隣のところやの場所で新人研修会があり、もじやからは、私と伊東さんが出席しました。

ライフに入って3日目の人や、既に3か月を超えた

人など様々でした。冒頭に、2時間の映画「人生ここにあり」を鑑賞しました。この映画は障害のある方(ここでは、精神障害者の方)が仲間と共に、仕事や恋愛に挑戦していく実話を元にしたイタリア映画です。興味深く見させていただきましたが、ただ私は2時間くらいの内、中盤あたりの1時間くらい記憶が無いです。記憶障害?…いやいやそんなことは…。食後の昼下がり、ましてや映画館さながらの暗い中…。もう一度鑑賞できる機会があるようなので、(夕張のライフ25周年の記念行事の中で、)欠落した部分を中心に見ようと思います。

その後、石澤理事と我妻理事長のお話があり、お2人の話で共通して言われていたのは、目的を持って、『共』に共生していきましょう。との主旨だったと思います。それがライフの目指す所のような気がしました。

私もこれから、ライフの一員として皆さんと共に目標を持ちながら、頑張っていきたいと思います。

○ 学びの多い研修会でした

ひだまり 山澤 友紀

5月17日(土)本部で行われた新人研修に参加しました。研修会ではイタリア映画『人生ここにあり』の鑑賞後、石澤代表からは、社会的事業所を目指すライフで働くことについての具体的なお話、我妻理事長からは、障害者の権利に関する条約についてのお話を頂きました。

たくさんのお話を聞き、自分にはまだ「やってあげる」「してあげる」というように上からの姿勢があったのではないかと感じました。支援と言っても、「してあげている」ことばかりではなく、私たちが彼らに「助けてもらっている」ことも忘れてはいけないと改めて実感しました。

今後は一緒に働くメンバーの皆さんと私たちスタッフとが手を取り合い、お互いのできないところをフォローしあえる、温かい(ひだまりのような?)関係で働きたいと考えております。

研修会後は、オードブルを囲んで懇談会をおこないました。さまざまな年齢層、さまざまな経歴をもった方たちとの交流はとても楽しく、勉強になることばかりでした。

他の事業所の方との交流も通して、ライフがよりよい方向に向けるよう頑張りたいと思います。



NPO ライフ 25 周年について思うこと



たねや 木原 悟志

まずはじめに、石澤代表、25年間お疲れ様でした。石澤さんと北区の社会福祉法人にいるNさんに、心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

石澤さんの話によるとNさんが石澤さんのやっていたおんぼろ印刷会社に押しかけてきて、その噂を聞きつけた児島や他の身体障害者が雪崩のように押し掛けて来たのが始まりと言われていま

す。それからなぜか知らないが障害者運動に目覚めってしまった石澤さんが会社の片隅で作業所を作り、そこに1人手伝いに入り俺が入り、亡くなったAちゃんIさん、その後3人の障害者がたて続けに入ってきて、そして今のたねやときばりやの前身となる軽作業中心の小規模作業所おおぞらが印刷会社の1Fでスタートしました。

こうして、石澤さんの長所でもあり短所でもある、困ってる人に区別はないというやさしさから、今のライフの形が出来てきました。

昔はみんな若く、自分たちの思いを形にしようと必死にデモや集会に参加したり、自分たちで主催したりしてきました。そのひとつが長年行ったJR琴似駅から西区民センターまで雪中デモでした。その間多くの障害者団体や車イスの方達にも協力していただき、その成果としてJR琴似駅から西区民センターまでの間の両側の歩道がロードヒーティングになりました。

これもひとえにライフを支えてくれている皆さんのおかげです。ありがとうございます。

その石澤さんが（今回も巻頭記事で理事長の我妻さん、実行委員長の児島さんが書いていますが）財政破綻して困っている夕張市を助けたという！！

25年と一言でいうが生まれた子供が大学を卒業して社会人になるまでの間行くあてのないめんどうくさい、わがままな障害者どもを見捨てずに文句も言わず共に歩んできました（お互い言いたい事は言わせもらったけど（笑））

これは特にライフに限ったことではないが、当事者の親に言いたい。

ある親は一人で旅に行かせるのは不安だからダメだと言う。また、ある親から旅行に行っている間に体調が悪くなると心配だからずっとついていくという。

両方の親に共通しているのは、子供離れしていないように見えるほど子供を心配しているところ。まず、最初の方だが普通に考えれば親の方が先に死ぬのだから色々なことを経験させておく必要があるはずだ。こんな言い方は使いたくはないが、健常者ならば学生時代に反抗期があり自立していくが、そのチャンスを摘んで来たのはあなたたちです！

今回の夕張の件のメンバーは費用がかからないし、いつも一緒に働いているみんなで行けるので大丈夫です。ぜひ親の皆さん勇気を持って背中を押してあげてください！ 帰ってきたらきっと少し違う子供の顔が見えるはずですよ。

二つ目は体調不良がおこるから心配ですとのことですが、普段から薬を飲んで生活していても、体調不良は仕事におきることもあります。それはそんな特別なことではないし、スタッフもメンバーも長い付き合いの中で誰がどうなるかお互いにわかっているから心配ないと思います。もし親御さんがどうしても心配だというのなら、付き添いではなく一緒に楽しんで思い出を作るために夕張に行きませんか？

今、ライフがあるありがたさを感じて下さい。今、ライフに通えていることに感謝して欲しいです。上からの言い方で申し訳ないけど、もし通っていなかったら毎日子供と顔を突き合わせて、きっとイラついていたことでしょう！ 子供がいたら働きにも行きにくいことでしょう。

25周年に参加させるか悩んでいる方たちへ、あらためてお願いします！！ みんなで一緒に25周年記念事業に参加し、その後もお互いに感謝し合いながら、ライフを支え合い進んでいきましょう！

長文失礼しました。

リユースプラザ 環境イベント **かわら版**

てらこや・リユース

ちきゅうにやさしいせいかつ、いっしょに学んではじめよう。

TERAKOYA・REUSE Vol.003

札幌市リユースプラザ
〒004-0003
札幌市厚別区厚別東3条1丁目1-10
TEL 011-375-1133
FAX 011-375-1155

主催：札幌市環境局環境事業部

《環境月間&キャンドルナイト特別企画》 6月21日・22日 開催時間 10時～15時

21日 10時～15時

キャンドル工房スノードロップ(A型就労支援事業)

廃ソーソクを使った キャンドルづくり

参加・材料費300円



21・22日 午前の部 10時～11時45分
午後の部 13時～14時45分

「第三土曜日工作教室」で人気の工作を体験しよう!

かんたん! 工作教室

参加費・子ども無料・大人100円



石と切手でペーパーウエイト、ダンボールのフォトフレーム、ペットボトルキャップとミラーマットで作るスタンプなどいちおしの工作を体験できちゃいますよ!

ごみ減量講座 **無料** ☆広報さっぽろ6月号にて受講者募集 (6月1日から受付開始～15日締切)

21日 13時30分～[60分間] 定員15名

『4Rでごみ減量講座』

講座を受けて
ごみを減らそう!

参加者全員に
エコバック
プレゼント!

21日 10時～15時 (一社)札幌消費者協会環境研究会

『ごみ分別ゲーム・さっぽろ環境かるた体験』

燃えるごみ・燃えないごみ、資源物の正しい出し方をごみ分別ゲームで体験しよう!

22日 13時30分～[60分間] 定員20名

『ダンボール箱式生ごみ堆肥化講座』

参加者全員に
堆肥化基材キット
プレゼント!

21・22日 NPO法人 創生もえぎもこもこ 子ども緑日広場

*ポップコーン *お菓子釣り *ヨーヨー など



21・22日 フェアトレード 商品の販売

『フェアトレード』とは、立場の弱い発展途上国の生産者から直接商品を購入して「仕事、教育、医療、地位向上など」を応援する貿易活動です。『第3世界ショップ』はフェアトレード商品を買うことで、仕事場をつくり、生活向上のための支援を行っています。



21日 NPO法人 **エコ雑貨販売** 地域生活きたのセンターぱお

手づくりパン・クッキー・ハチミツ・糸こんにゃくや、エコ商品の販売をします☆お楽しみに!

21・22日 各日10組出店 ※雨天中止

市民参加の フリーマーケット



☆広報さっぽろ5月号にて出店者募集(受付抽選5月16日終了)

21・22日 リユース **エコ雑貨販売** * バザール *

- *リメイクアクセサリ
- *リメイク洋服
- *手づくり石けん *
- *羊毛小物
- *和布の小物
- *北愛館の生いたけ などなど...盛りだくさんの品揃えです!



21・22日 障がい者就労継続 支援事業(B型) **エコ雑貨販売** わーく・ひまわり

環境にやさしいEM(有用微生物群)を活用して生ごみを安全に土に還し堆肥にできる『EMボカシ』や、『EMせっけん』、色々な花の苗の他、無農薬の『ウガンダコーヒー』の販売をします!

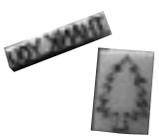
22日 共働事業所さびりや **野菜の販売** 新鮮野菜の販売

採れたての新鮮野菜を
格安でご提供します!



22日 かんたん! ケシゴムハンコづくり

刃物を使わないので小さなお子さんもお母さんと一緒に作れます。別売りの手づくりレターセットに自作のハンコを押すとオリジナル品が完成♪ (参加・材料費500円)



アクセスマップ

地下鉄東西線新さっぽろ駅
7・9番出口
徒歩8分程度



札幌市リユースプラザ 検索

札幌市リユースプラザ

〒004-0003 札幌市厚別区厚別東3条1丁目1-10
TEL 011-375-1133 FAX 011-375-1155

札幌市リサイクルプラザ 発寒工房

〒063-0835 札幌市西区発寒 15 条 14 丁目 2-30
TEL 011-662-7815 FAX 011-662-7816



<http://www.reuseplaza.jp/>



とってお得なリサイクル用品

発寒工房 坂本 倫子

札幌市で出される大型ゴミのうち再生可能な木製家具・自転車・子供遊具などはリサイクル収集として発寒工房へと運ばれてくる仕組みはすでにみなさまもご存じだと思います。収集されてくる物を見ていると、時代を感じるようなタンスから、最近のデザインの物まで様々です。

自転車に関しては、最近よく見るようになったのは、写真のように前カゴの部分に子供を乗せるようになっているもので、前輪と後輪の大きさが違うデザインのものがよく入ってくるようになりました。自転車に子供を乗せて走るお母さんは良く見る光景ですが、子供を乗せる部分が昔はハンドル部分にひっかけるようなものでしたが、安全面などからでしょうか子供を乗せた時のバランスやタイヤに足が巻き込まれないようになど構造にも考慮されているようですね。道路交通法が変わり、以前幼児を2人乗せるのは禁止されていましたが現在は写真のような幼児座席が2つついている自転車であれば認められているようです。幼児用座席が1つしかない場合は子守バンド等で背負って運転することも認められているようです。

ちなみに、この自転車は新品で購入するとなると4万円くらいするものですが、厚別リユースプラザ・リサイクルプラザ宮の沢では4,000円～4,500円で購入することができます。家具も新品で購入すれば数万円するような物が数千円で購入できるのでとってもお得です。是非、足を運んでみてくださいね。



★ リユース春祭りに参加して ★

発寒工房 関 隆弘

土曜日は、天気が雨でしんばいしました。ごみのしょぶんをしているときは、すごく風や雨でとてもさむくかんじました。

よいことはぶじにうりあげがあったことです。さんねんなことは、ごみなげのかずのすくなさと家具のうれなさと、雨でちつきゅんが参加できなかつたことでした。ぶじにめでたしめでたしでした。

発寒工房 斎藤 悦久

今回はリユース祭りは雨と曇りでしたが自転車抽選会はどうなるのかと不安でした。子供たちはそんなことは気にせずお気に入りの自転車を選んでました。実際ちゅうせんが来る前は、なんとも言えない緊迫感を感じましたが終わったときは、なんかホッとしました(笑)



そして周りをなごましてたのは三匹の大型犬。「実際は影の主演だったでは？」ないかというぐらいみんな楽しませてました。天気が悪くても雨が降っても何も変わらないのが今回は逆に良かったです。

発寒工房 大井 敏彦

5月17日(土)にリユース春祭りが開催され、今年も参加したが朝から雨が降って、さらに風も強かったので予想以上に寒くてお客さんにも気の毒だったが、天気割にはイベント自体は良かったと思う。

新しく参加してくれたセラピードッグの会ではセラピードッグが好評だったので、とても良かったと思う。マジックショーや川下太鼓、互久樂さんによる南京玉すだれなどイベントは順調に進んでいったが、テントが強風のために張れなかつたので、少しさびしいイベントになってしまい、焼きそばなどの屋台も中で行ったので少し盛り上がり欠け、ちつきゅんや環境かるた大会も中止になった。



僕の担当の資源ゴミもいつもより少なかったが、今回もダンボールをバラバラに持って来る人もいてまだまだ市民には理解できていないことは残念だった。来年は天気に恵まれることを望む。



キッズパフォーマンス 川下太鼓

去る5月17日(土)、平成26年度の初イベントが開催されました。来館者数353人でした。

1週間前の週末は気温が26℃まで上がり、初夏を思わせる天候でしたが、なぜかイベントが近づくに連れてドンドンと気温が下がり… 何か月も降らなかった雨が降り出し、更に厚別名物の強風が吹き荒れました。

がしかし、北海道新聞の朝刊のイベント情報に掲載されたこと、地元密着のまんまる新聞を見てと来館者が続々と…。

厚別南サークルのマジックショーをしっかりと楽しむ方々～一瞬追っかけのおばさま? と疑ってしまうくらい合いの手の上手(笑)。川下太鼓の演奏、互久楽さんの鼻笛、南京玉すだれに拍手喝采! そして、イベント初参加の北海道ボランティ

★ 春だ! 桜だ! リユースまつり～★

大荒れ!?!

リユースプラザ館長 松永 クニ子

アドッグの会のセラピー犬との交流など。来館者は寒い中、ゆっくりとイベントを楽しんでいました。

ライブ名物の焼きそばは、今回は市民工房で調理。こちらも、のんびりと食事をする大勢の方々。飛び入りで販売した、きばりやの「石狩産朝採りの新鮮アスパラ一束200円」は、館内でアナウンスした途端完売とうれしい悲鳴!

ライブの新スタッフの方々も、新人研修会開催時間前に一仕事して下さいました。ライブのスタッフとメンバーの皆さま、イベントを盛り上げて下さり本当にありがとうございました。

これからも、6月7月9月10月ほぼ毎月のようにイベントが開催されます。

みなさまの
来店をお待ちし
ております。



セラピー犬との心のふれあい!



札幌国際芸術祭!

★ 都市と自然 リユースプラザ協賛展示します! ★

何を…??

リユースプラザ 西田 大作



さて!どんなツリーが
出来上がるのかな?お楽しみ♪

こんにちは、リユースプラザの西田です。松永館長から「都市と自然をテーマに木を作りなさい」という指令を受けまして、リユースプラザで受け取った資源物をこそこそと澤田さんに内緒で、「大作の宝物」として溜め込んで調達した材料をもとに、「廃品ツリー」を制作しました。このツリーは、普段何気なくごみ箱に捨ててしまう、「飴の袋」「包装紙」「レジ袋」などをお客さんや職員の皆さんに協力してもらって、枝に引っ掛けてもらい、綺麗なごみの花を咲かせるというものです。そ

して、過剰包装や使い捨て、ごみのポイ捨てに目を向けてもらえたらという思いをこめました。

皆さんも、そのごみを捨てる前に、一度考えてみてください「うわぁ!この飴の袋はきれいだなぁ!」とか「このカンカンのデザイン素敵だわ!」そう思ったらリユースプラザの廃品ツリーに引っ掛けに来てくださいね。

影の声:ことの発端は、4月初旬にごみ減量推進課からの「リユースプラザで何かできませんかねえ〜?」。

来館者の協力で完成は、9月20日(土)ともども秋まつり「まつりだ!環っ!」です。作成過程は随時HPで報告。

フライパンの楽器に始まり、不用品、木の枝などを作品に変身させることのできる西田大作が居てこそ引き受けることができました!! えっ〜と!次は何を引き受けようかしらん♪(松永談)

アウトソーシングセンター
元気ジョブ

札幌市中央区南 8 条西 2 丁目 5-74
市民活動プラザ星園 103
TEL 011-596-6581
FAX 011-596-6582
E-mail: genki@hatarakutei.jp



東北を走って

所長 織本 義昭

4月下旬の連休に3年ぶりに東北に行ってきました。前はJRを利用したため、岩手の釜石を中心に徒歩でじっくり廻り、あまりの無惨さにただ呆然と立ち尽くして帰ってきたその時のことを今でも鮮やかに思い出します。

震災から半年経てもなお、中心市街地のお店はシャッターがめくれあがって、店内はガレキであふれ、道路の両側にもガレキがつかまれ、腐ったような磯臭い匂いが街中に漂っていました。

中心街ではコンビニが2店開いているだけで、作業している人以外地域の人々をほとんど見かけず、異空間に迷い込んだようです。

その後何をするというのではないため、物見気分で行っていいのかという思いを感じていましたが、やっぱり被災地の現在がどうなっているのか、空気を吸ってくるだけでもいいじゃないかということで、今回は車で海岸線をただ3日間ひたすら走ってきました。

1日目の朝、仙台に着き、そのまま福島原発近く行ける所までいこうということで、立ち入り禁止区域まで行きました。住民は証明書があれば出入りできるようです。

あまりにも静かで、そこだけ時間が止まっているように感じ、この地域で暮らしてきた人々の過去なり未来のつながりが、あの原発事故によって断ち切られたことを実感。

仙台に戻り宿泊し、2日目は釜石めざして海岸線を北上。途中休憩した石巻の中心商店街では、半分近くのお店が休日にかかわらずシャッターを閉じており、閑散とした街並みと、あらゆる所に置かれている石森章太郎の仮面ライダーと009のオ

ブジェが異様な組み合わせに映りました。

女川～気仙沼～陸前高田～大船渡とどここの道も工事のためのダンプが忙しく走っているのが目立っていました。

釜石の宿は海のすぐ側にある宝来館。その日はリアス海岸特有の穏やかな海が広がり、この海が突然牙をむいたことが信じられませんでした。

朝食が終わって、宿の女将から映像をまじえながら、被災した当日の生々しい状況を聞くことができました。

「被災したおかげというか命の大切さを知った。全国からの支援のお返しに命の大切さを釜石から全国・世界に発信しつづけたい」

と話されそのしなやかさと逞しさに、こちらが励まされてしまいました。

次の日は八戸をめざし、フェリーで帰札。

このルートの間「津波がここまで来た」という標識がいたる所に立てられており、少しは津波の大きさと恐ろしさを想像することができたような気がします。

震災から3年経過し、被災者の抱えている状況に違いがでてきているなか、復興にむけた、より難しい局面を迎えているようです。

復興の道のりはこれからが本番、防潮堤一つとってみてもその高さを何mするかは、住民の合意がどのようにできるのかということにかかっています。

宝来館のある地域では、防潮堤をかき上げしないで「海と共に生きる」ことを選択したようです。住民自らが決定権を持つということは、あらゆる困難を引き受ける決意がないとできません。

復興への永い道のりを応援していきたいと思っています。



ヘルパー派遣業務・在宅介護支援

ヘルパーステーション

ゆい
繭結

札幌市西区二十四軒4条6丁目5-32 テラ二十四軒1F TEL 011-623-2505 FAX 011-644-0088

震災・援助と差別

管理者 笠井 衛二

あの巨大震災から3年、やっと東北の地に行くことができ地域的に限定であったが、宮城県から青森県まで太平洋側を4泊かけて廻ることができた。

とりあえず狭く一方的な見方であるが、見たまま感じたままを報告してみたい。

私は震災の2年前に仙台から石巻・気仙沼・釜石・遠野・花巻と3泊の旅をしており、車窓からの景色を辿る旅でもあった。

東北の太平洋岸は小さな入り江がいたる所に存在し、天然な良港にあふれており、港を囲んで集落が幾重にも重なっていたが、今回の旅ではその家並みが見えない。

港から山沿いに残された段々に見える住宅基礎部分がかつての生活を示すだけで、寂寥が広がっているだけの風景があるだけである。

港には磯舟もあり、その先には養殖の筏も波間に見え隠れしている。が、それらを支える息遣いが聞こえない。寄り添うように密集した家々の囁き、路地に響く子供たちの歓声、網を繕う老人とタバコの煙等、時代が変わっても途切れなかった家々の生活が、なくなったという事実によって圧倒された。

私は今回、松島から八戸まで車で走ったが、行く先々の港に面した集落が村が町が跡地となっていた。

大きな規模の市や町は復興の営みが目に見える。多くのダンプが行きかい、防波堤が新たに造られ、山を削った団地が生まれようとしている。だが、町と町との間にある小さな集落では、高台に建てられた仮設住宅に入ったまま、なんらの進展もない。

国道沿いで仮設の食堂を営んでいる夫婦の話聞いた。「港より200mも奥に家はあったけど、あつという間に流された」と身振りで波の激しさを示し「仮設で3年、出て行く家族を見ると複雑な心境だ」素直に喜べない現実を吐露し「私たちはい

つ出て行けるのか」と展望のない生活に苛立ちながらも「でも、福島の人たちはもっと苦しい」と自分たちの辛さを紛らわした笑顔、が心に染みる。

瓦屋根の家、窓からの潮風、庭には季節の花々が溢れ、芳醇な海の幸と豊穡な山の恵みに支えられた平凡な風景、それらの生活が一瞬に壊された。

それからが震災が人災に変わる。

仮設住宅は、4畳半2室にトイレバス付。集落の人たちはアパート住まいもマンション暮らしも経験がない。それが仮設というプレハブ長屋に閉じ込められ、3年たつたいまでも先の見えない生活を強いられている。

確かに復興事業は動いている。南三陸町では津波に破壊された町の大部分を8mも土を盛り商業地区とし、住宅地は山を削って確保するという計画だ。だが現状はごく一部の盛り土しか出来ていない。山を開いた住宅地など手付かずのままである。まして小さな漁村など埒外と思われる。これは震災の結果ではなく人災の答えなのだ。

これだけの災害に正面から向き合わないこの国の姿勢に憤りを覚えるが「がんばれ東北!」の応援意識も問題だ。

仮設の商店主は、来てくれた人は魚も野菜も買ってくれるが、全国的な販売ルートでは東北の名前だけで拒絶されると力なく笑う。放射能汚染と無縁であるのに東北産野菜類は決して応援されることはない。それをあたかも受け入れるポーズが「がんばれ東北!」なのだ。

口では「がんばれ東北!」と唱えながら東北産は購入しない身勝手さは、障害者支援を指導監督と考えたり、スタッフ都合の事業所運営と同じといえる。我等が師、この実会の加藤元理事長は「共に生きることは、共に死ぬことだ」と常々口にされている。自戒せねばと痛感した旅となった。

就労継続支援事業A型
共働事業所
 ・印刷物版下制作・製本
 ・紙焼き写真のデジタル化
 ・農業・喫茶・ポスティング
 ・DM発送・その他の軽作業

きばりや



「今日ね～、長ネギ抜いたの～!」「今日ね～、サツマイモの苗、植えたの～!」夕方5時になると毎日こんな元気な声が事業所に響き渡ります。

畑仕事が楽しくて楽しくてたまらない様子で、この暑いのによく音を上げずに頑張るなぁと感心しています。また食べていただいた皆さんの「美味しかった」のひと言がとてもはげみになっているようです。

今年はズッキーニ9種類、かぼちゃ19種類、じゃがいも11種類と一つの品目に対し、たくさんの種類の種や苗を植え、花畔の畑ではどれが一番美味しくできるのかを挑戦しています。珍しい種類もたくさん植えますので楽しみにしてくださいね。

世界の畑

濱中 孝仁

雨時にはたけをする時、こぼ、ねぎ、いも、いろいろな花の黒いにつきをいれるようにコンナこぼいれる時にひけとりおまぐつつくのはたけ青、みとりの水、たくさんの仕事かメンバーと一緒に3人のはたけにすこいかった。最まで終時にがりました。

畑作業をして!



織本 亜哉子

4月28日から今年の畑作業が始まりました。ごぼうの収穫をして、ひげとり、じゃがいもの種芋を植えました。

今年はじゃがいもの品種は11種類あり覚えていきたいです。

初めてねぎの収穫をみんなでごぼう茶を作りました。しました。ゴールデンウィークあたりから風が強くて、玉ねぎや人参の種は風でとんでいってしまったら大変なので防風ネットを建ててから植えます。

今年は去年よりも色々な野菜を植えるので、覚えてがんばってやっていきたい。

共働事業所 きばりや

〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMO1F
 TEL:(011)644-5533 FAX:(011)613-9323

Cafe de キバリヤ

〒060-0808 札幌市北区北8条西3丁目 札幌エルプラザ3F
 TEL/FAX : (011)758-6533

門田 輝美

ただ今、作付け中ですので、暫くは店頭や出張販売での野菜はありませんが、みんなで愛情を込めて作っているの、応援をよろしくお願いいたします。



石狩市花畔の作付け情報～

- ・かぼちゃ・じゃがいも・大豆・ズッキーニ・きゅうり
- ・おくら・さつまいも・つるありいんげん・トマト
- ・人参・落花生・スイカ・ポップコーンなど

※メルアド登録をしませんか?

新しい野菜が店頭に並びましたら、メールで情報をお知らせさせていただきます。件名に「やさい」と入れて下記のアドレスに空メールを送って下さいね。

kadota@npolife.net

7周年

カフェ 山本 滋基

今年5月16日で7周年でした。7年の間に何人か代わってぼくが一番古くなりました。

最近のエプロンも変わりました。これからもがんばっていきます。

～cafe de キバリヤより～ 大福セット



260円(税込)

単品 140円(税込)

6月になり気温も徐々に上がってきました。冷たい飲み物と一緒に3色団子はいかがですか? 3色団子は3種類の餡が入っており、それぞれの味を楽しめます。

何の餡が入っているか、カフェで是非お試し下さいませ。お待ちしております。

キャンドルナイトに参加します月

6月21日(土)19:00～20:00

エルプラザ1Fで行われるキャンドルナイトに参加します! カフェからは、ドリンクと手作りクッキーを提供する予定です。ぜひ遊びにいらしてくださいね☆

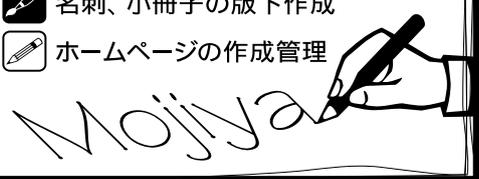




共働事業所 もじや

〒064-0808
札幌市中央区南 8 条西 2 丁目 5-74 市民活動プラザ 星園 104
TEL (011)596-6583 FAX(011)596-6584
E-mail:mojiya@npolife.net

- 印刷・編集・制作・出版・企画
- テープ起こし
- 名刺、小冊子の版下作成
- ホームページの作成管理



『砂の器』と鬼太郎の親父 大衆文化の中のハンセン病・第2回



早川 玄

松本清張原作の『砂の器』は何度かドラマ化されているが、らい病を扱ったのは野村芳太郎の映画版(松竹1974年)だけかと思う。劇中、丹波哲郎が演じる刑事が「彼(犯人の父親)が村を出て行かなければならなかった理由は、当時(戦前)としては不治の病といわれた、らい病だったからであります」と、あの丹波口調で語り出す。ところがこの刑事は、不治の病だったはずの男(犯人の父親=加藤嘉)と30年近く経ってから面会する。話を聞いた他の刑事は「まだ生きている?」と驚くが、観客も驚く。その場面で、観客も含めた多くの人々のらい病に対する無知があぶり出されるわけである。

この映画での丹波哲郎-加藤嘉対面の場は、菅野光の音楽と相まって、日本映画史上屈指の名場面なのだが、ミステリー映画なのであまり語るわけにはいかないのが残念だ。ただ、らい病患者が施設に入ると、家族・親戚から見捨てられ、まず面会には来ないという現実がここで浮き彫りにされる。戸籍を抜かれてしまうという例もあったらしい。

それで最初に観た当時に疑問だったこともいくつか解決する。なぜ、病院に行かずに放浪の旅に出たのか? 病院に入ったら一生外に出られないから。なぜ、お遍路さんなのか? 神仏に救いを求めることもあるが、忌み嫌われる病気でどこにも定住できないし、働くこともできない。お遍路さんなら、托鉢として食を乞うても不自然ではない。なぜ、子どもを連れて行ったのか? らい病が遺伝性の病気とも思われていたから、きっとこの子も…。なんとこの昭和10年代には、らい病を「一等国にふさわしくない国恥病」として、無癩県運動というものが起こり、積極的に患者の排除・隔離が行われていたという(「ノーマライゼーション障害者の福祉」2004年

9月号参照)。遺伝にしろ伝染にしろ、家族も当然白い目で見られたわけだ。この物語の犯人は、父親がらい病だったことを世間に知られたくないために戸籍もねつ造し、さらに殺人まで犯すのである。

映画のラストで「ハンセン氏病は特效薬が発見されて100%完治する。しかし偏見はいまだに根強く…」という内容の、原作にはない字幕が出てくる。私はここで初めて「らい病は不治の病ではない」ことを知った。しかし、感染力が極めて低い病気であり、現在では法定伝染病から除外されていることを知ったのは、最近になってからだった。

この映画版『砂の器』がテレビ放映された時(1980年頃)、「らい病」という言葉はカットされていた。差別用語というより、その文脈から、最後まで観ない視聴者が誤解することを恐れたのかもしれない。前回で書いた『墓場の鬼太郎』の復刻版でも病名は削除され、ただ「不治の病」としか書かれていない。「らい病は不治の病」とする、戦前の古い知識を広めるよりは、または、間違いをあらためずに作者が恥をかくよりは正しい判断だ。

ところで、文中「らい病(癩病)」「ハンセン病」「ハンセン氏病」と、表記が統一されていないことが気になった人もいると思う。(つづく)

『夏ですね~』

永島 勝章

工場の窓から見えるサクラもあつという間に散り、やっと札幌にもすごし易い初夏を迎えます。

もじやが入居している市民活動プラザ星園の周辺には、鴨々川や中島公園など自然に囲まれて、ススキノに近いわりには、日中はもちろん、夕暮れ時も静かです。これからは祭りが多い時期となり、みこしを担ぐ威勢の良い掛け声や祭囃子の笛や太鼓の音色が聞こえてくるでしょう。

仕事では、慌しかった毎日がウソのように落ち着いています。だからこそ今のうちに自分の仕事を見つめなおして、これからの仕事につなげていきたいと思えます。



NPO法人 札幌・障害者活動支援センターライフ
共働サービス たねや
 〒063-0804 札幌市西区二十四軒4条6丁目5-32
 テラ二十四軒1階
 TEL 011-613-0611 FAX 011-644-0088
 taneya@npolife.net

- 出張販売
- 配送業務
- チラシ折り
- 封筒詰め作業
- 箱折り・シール貼り
- 清掃委託業務
- その他委託業務

『“たねや”らしく!』

たねや所長 村上 千春

新しい年になったと思っていたら、もう初夏のにおいを感じる季節です。いつものように慌ただしく過ぎる日々(これは自分の反省点ですね…)

そんな毎日ですが、たねやでは、できるかぎりみんなと話し合い、意見を出し合いながら仕事を進めていくように時間を作っています。色々な意見が出過ぎて收拾がつかなくなることもあります(^_^;全員でたねやを作っていくんだという気持ちを、少しずつ広げていけているように感じます。

販売や軽作業など、それぞれ得意なところで力を発揮し、苦手なところはお互いに支え合う。明るく・あたたかく・笑顔で過ごせるたねやになればいいなと思っています。

お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。元気に働いている顔か、話し合いで煮詰まった顔か(笑) たねやらしく出迎えさせていただきます!

新人紹介



『別世界へ』

大浦 拓磨

私は1980年10月10日生まれの33才です。現在まで十数年、歯科技工士としてコツコツ机にむかい歯を作っていました。ふと思いついたのです、体を動かす多様な仕事をしてみたいなあと。

スタッフ、メンバーの皆様に色々教えてもらいながら、楽しく、仲良くやって行きたいです。よろしくお願ひいたします。

『しごとについて』

井口 真二

出張販売と軽作業をしています。そうじにもいって。そうじは週に1かいいって。この先も出張販売にはいっぱいいきたいです。

札幌駅前地下歩行空間
「カイマチ」にもぜひお越しください!
出店予定 6月12~13日・25~26日
 7月10~11日 9月3日・22日
AM10:00~PM6:00

たねやイチョウシ
今月の新商品
奄美瀬戸内 純黒糖
 300g
 税込 562円
 今月は疲れたときに欲しくなる黒砂糖をご紹介します。
 奄美本島最南端の瀬戸内町のサトウキビのみを厳選し、昔ながらの工法で3回に分けて煮詰め、糖度を微調整して作ります。疲れたときだけでなく、お茶うけやおやつにもどうぞ!



『みんなにおいつきたい』

蜂谷 和輝

- 9:30~16:45までねむくならないようにがんばります。
- 出張販売をもっとおおく行けるようにしたい。
- 軽作業をしんちょうにきをつけてする。
- 新しい作業には(やれると)手を上げる。
- カイマチもたいちょうがよければさんかする。

『春も頑張ります♪』

木原 悟志

札幌もお花見やゴールデンウィークが終わって、小学校の運動会のこえがちらほら聞こえて来て、やっと春の音が聞こえてきた今日この頃、イオンの忙しさもやっと落ち着いてきました!!

これから夏休みに向かってまた忙しくなるから頑張るぞ!





コン・ブリオ ひだまり
 札幌市西区琴似2条3丁目2-37 サンハイム1階
TEL 615-4131 FAX 615-4132
 E-mail : konburio@npolife.net
 営業時間：月～木10:30～18:00 金10:30～21:00 土10:30～15:00
 休業日：日曜、祝日、年末年始

🍌🍅🍆 (6月のひだまり!) 🍎🍇🍓

ひだまり一同

ひだまりでは四季を問わずソフトクリームを販売しておりますので、冬の寒い日でも食べていかれる方がいらっしやいます。

最近暖かくなって来ましたので、良く売れています。やはりオーソドックスなバニラが人気です。

他に抹茶、黒ゴマ、ストロベリーがあります。ご来店お待ちしております。



今が旬

トマトとアスパラガスのサラダ

☆材 料☆ (2人分)

- アスパラガス …… 4本
- トマト …… 大1個
- たまねぎ …… 中1個
- オリーブ油 …… 大さじ2
- 酢 …… 大さじ2
- 醤油 …… 小さじ1/2
- 砂糖 …… 小さじ1/2
- にんにく …… 1片
- 塩コショウ …… 適宜

☆キッチンレシピ!



① 先にドレッシングを作ります。●印の材料をボールで混ぜ合わせ、たまねぎと、にんにくのすり下ろしを加えます。

- ② アスパラガスを斜めにスライスします。
- ③ 沸騰したお湯に塩を一滴み入れ、アスパラを1分から1分半くらい茹でます。
- ④ 茹でたアスパラは火がとおり過ぎないように、冷水に当てて冷やします。
- ⑤ トマトをくし型に切ります。
- ⑥ ドレッシングで合え、軽く黒こしょうを挽きます。

コツ・ポイント

野菜、ドレッシングの準備できたら、冷蔵庫で冷やし、食べる直前にあえると美味しくいただけます。オリーブ油が好きな方は食べる直前に、さらに回しかけても美味しいです。

ひだまり特製お弁当

みんなのお弁当作っています!!



520円
(税込)

日替わり弁当の一例です!

鶏の唐揚げ、焼き鮭、ウインナー、煮物(こんにゃく、牛蒡、人参、ふき、蓮根、さつま揚げ)、温野菜サラダ(アスパラ、人参、牛蒡)、漬けもの

(お持ち帰りの場合、パック代20円を別途いただきます)

地震予測



横窪 友美

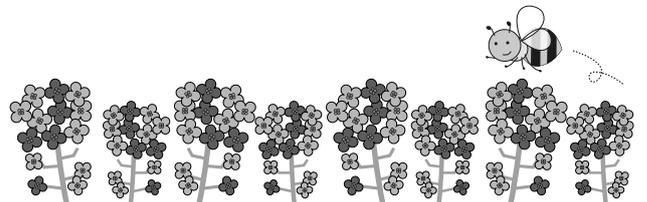
先日読んだ週刊誌にある大学教授の話が載っていました。その人は東日本大震災の予兆を確認しつつ、結局何もできなかった後悔から恥をかいてもいいと地震を予測しつつづけていて、試行錯誤の結果、今年起きたM6以上の地震は全て事前の察知に成功しているそうです。

世の中の地震学者は全てこうあってほしいと思います。



新井田 琴江

みどりの日(日)に美唄にも旭川にも行って来ました。ママと2人で行って来ました。日帰りだった。いろいろな花を見て楽しかったです。





NPO法人札幌・障害者活動支援センターライフ

こころや

〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5
マンションMOM0102TEL 011-614-1871 FAX 011-613-9323
kokoroya@npolife.net
 お米精米・販売
 チラシ折り
 封筒詰め作業
 箱折り
 シール貼り
 清掃委託業務

「役割分担はフリー」

小黒 悠佑

こころやの仕事は、軽作業、お米の精米と販売、清掃作業の三本柱。

これらを中心に毎日の仕事は回って行きます。

折りが得意な人、帯が得意な人、清掃が得意な人、お米の精米が得意な人…

もちろん、それぞれ不得意な分野もあります。そんな得手不得手をお互いに補い合いながら一つひとつの仕事が完了していきます。



しかし、清掃業を除いて明確な「役割分担」があるわけではありません。それぞれがやっている間に自然に出来ていったのです。だから、突然担当が変わることもあります。今まで出来なかった事が、できるようになることもあるからです。可能性の扉をフリーにしておくこと。それもこころやの大事な雰囲気なのかも知れません。

一人暮らしの体験について

後藤 高志

5月19日～22日まで、一人暮らしの体験実習をします。親がもう年なので、それに2年前の春頃に交通事故に遭ってしまい、事故る前に働いていた仕事もやめてしまったので一人暮らしもやりたいと思いそれで、アンビシャンスの人に仕事先を探してもらい、去年の11月にこころやに入所し、5月19日から1回目の体験実習が始まる。1回目は介護なしでなるべく自分でどこまで出来るかを体験して見たいと思います。

「元気に頑張ってくれ」

石井 美之

今年は昨年とちがいがあたたかい日がつづき、桜の木もゴールデンウィークにまにあい、あたたかい日がつづいております。

さて、とつぜんですが5月に入り職員がひとり辞職しました。

Tさんが新しい職場にうつるため、こころやをやめていきました。

新しい職場でいままで以上にがんばってくれると思います。



じむしつ

うれしの けんた

おかださん、さかもとさん、きもとさん、だいひょうゴミをかいしゅうしました。

アカイゴミをかいしゅうしました。げたばこをふきました。だいどころゴミをふきました。テーブルをふきました。モップをふきました。ハキそうじをふきました。トイレそうじをふきました。

しょくどういすふきました。じはんきふきました。まどガラスをふきました。じょしロッカーうえとしたふきました。あかイスとみどりイスをふきました。かごをふきました。カガミをふきました。げんかんをふきました。ふろのなかをふきました。アオイスをふきました。きいろオレンジイスをふきました。じゃぐちをふきました。かいだんモップをふきました。

としょいす、ほんをふきました。げたばこをふきました。しょうかきをふきました。じはんきふきました。

じむしょまどガラスをふきました。オハナをふきました。ロッカーをふきました。どうぐをふきました。カサたもくてきストップをふきました。

おんがくしつピアノをふきました。まどガラスうえをふきました。

ライフで共に働く 障害者メンバー募集中♪

ライフでは、色々な職種の事業を展開しています。一度働いてみて自分に合わないなと思ったら、ライフの中で別の職種を探すことも出来ます。お気軽に、自分にピッタリのお仕事探しをしませんか？

就労継続支援事業B型 たねや



♪♪ たねやと一緒に販売をしてみませんか!?

たねやでは店舗販売・出張販売・清掃委託業務・軽作業を行っています。

店舗では「体に優しい」食品や、手づくり雑貨を厳選して販売。現在は販売に力を入れていることもあり、接客に興味がある人は特に大歓迎です。その他、清掃や軽作業に興味がある方も是非下記までご連絡ください。

一緒に自分に合った仕事を探しませんか!?



☀ 就労継続支援事業B型 ひだまり

コン・ブリオひだまりでは、店内で提供するお料理とテイクアウトや従業員用のお弁当を作り、笑顔で接客し、体に優しい商品を売っております。現在、メンバー13人とスタッフ5名で一生懸命楽しく働いております。

料理が出来なくてもスタートはみんな一緒にす！みんなが優しく教えてくれます★

一緒に働いてみませんか??!
ご応募お待ちしております!!

問い合わせ:011-615-4131
担当 小野寺



私たちと一緒に
楽しく働きましょう!!



※毎日元気に出勤できる方優遇
お問い合わせ:011-613-0611
担当 村上・奥井



就労継続支援事業B型 こころや



あなたのこころに!!
私のこころに!!
「こころや」です。



『こころや』では下請け作業やお米の卸し・販売の仕事を通じて、個性豊かな仲間たちが、時には面白く、時には真剣に仕事に取り組んでいます。

一緒に働いてみたいという方はもちろん、見学だけでも構いません。ご連絡お待ちしております。

問い合わせ:011-614-1871
担当 小黒・岡田

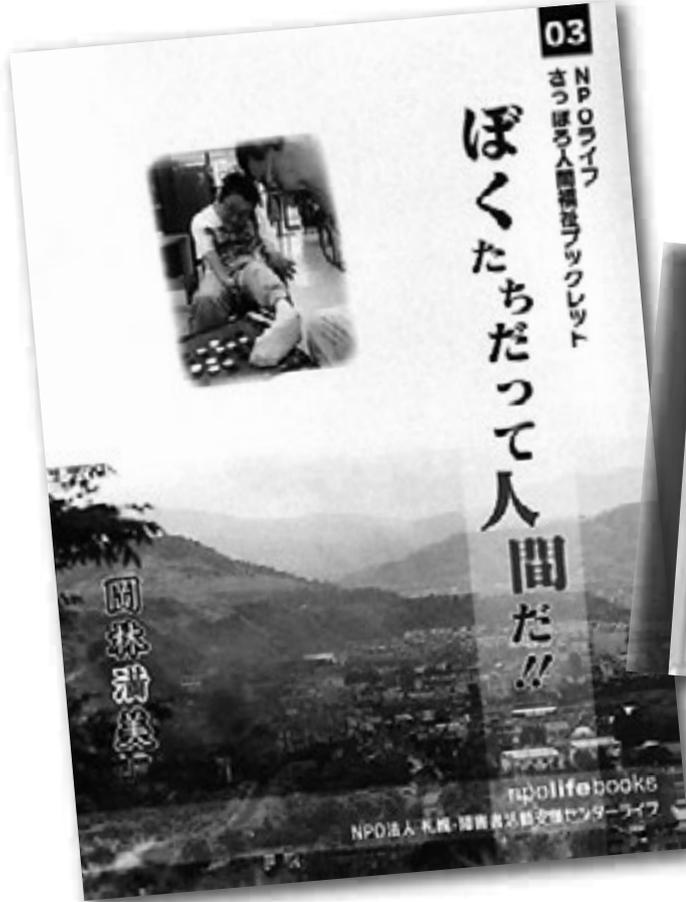


ライフの事業所 ころや在籍の岡林満美(おかばやし みつよし)さん執筆 NPOライフブック 待望の 第3段

絶賛発売中

障害者として生まれた満美。
話すことも、自由に動かすことも出来ない手足で
自殺まで考えた彼が今、

『生きていて幸せだ。』と言えるのは…
岡林満美、渾身の一冊、**ぼくたちだって人間だ!!**



CD 岡林満美
僕たちの小さい命
同時発売!!

NPO ライフブックレット No.3
2012年8月31日発行
『ぼくたちだって人間だ!!』
定価 800円(送料別)
A5判 134ページ

2012年8月31日発売
『僕たちの小さい命』
定価 300円(送料別)
※ 同時購入 1,000円(送料別)



私たちは「福祉」という言葉を好まない。それは、「福祉施策」を必要とする人たちを見下したときに使われることが多いように感じられるから…

本来『「人間福祉」であるべき「福祉」が、今、「制度としての福祉」になりさがっている』という社会福祉法人この実会の加藤孝さんの言葉に触発され、『さっぽろ人間福祉ブックレット』を発行する。

NPO ライフブックレット No.2 2008年8月31日発行
『収容施設はもういらないうまで』
A5判 72p 定価 840円(送料別)

社会的排除からインクルージョンへ 経済の民主主義と公平な分配を求めて



危機の時代こそ
新しい考えを試す好機!
社会的事業所促進法を!

日本発
共生・共働の
社会的企業
定価 2,100円(送料別)
編者 NPO法人共同連
2012年9月10日発行
195×135 240p

震災復興は雇用の創出から いまこそ社会的事業所の出番です!

社会的困難を抱える人たちとの「共働」をめざす、「社会的事業所」制度の法制化は急務であります。

社会的事業所とは何か?

その理念と実践の取り組みが解りやすく語られています。

NPO ライフブックレット No.2 2011年6月30日発行
『誰もが働ける社会を』
A5判 140p 定価 1,000円(送料別)

●ブックレットのお申し込みは ——
NPO法人札幌・障害者活動支援センターライフ

札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションモモ 1F
TEL:011-633-6666 FAX:011-613-9323
mail:honbu@npolife.net HP:http://npolife.net/



公は制度がないと動かないし、借からないと民は動かないけど、公でもない民でもない、この社会の我々の生き方というのをとりあえず「社会的事業所」と呼ぼうか

後ナイス代表取締役 福田 一幸

NPO 法人 札幌・障害者活動支援センターライフ



厚真町
本田農場産

ゆめぴりか

地方発送 承ります!!

限定30袋

最近、おいしいとTVでも取り上げられている北海道米。
お米マイスターが本年度イチオシの品種と評した最高級米ゆめぴりかを地方発送いたします。
大切な方への贈り物、大切なご家族やご自分へのご褒美に安心安全な北海道米はいかが？

9kg 4,650円(税込)

北海道の優良品種
極良食味米

分づき米とは？……玄米と白米の間のお米で、両方の良さを味わう方法が「分づき米」。玄米の栄養素と白米の美味しさの“いいとこ取り”の分づき米が、今大きな注目を集めています。
白米と比べるとビタミン・ミネラル・食物繊維を豊富に含んでいるため栄養面でも優れています。
※ ご要望に応じて玄米、分づき米(7分)、白米まで精米いたします。

栄養価
たっぷり!!

もちもち!!



精米したて!!……ご注文をいただいてから精米し、即日発送いたします。精米したての新鮮なお米をご賞味下さい。

新鮮!!

本田農場生産の低農薬栽培は？……除草剤・イモ子防除剤 各1回のみ散布して栽培しています。

低農薬米?
安心・安全!!

申込書 ※ ご要望に応じて玄米から白米まで精米いたします。

送り主	住所	
	氏名	
	TEL	FAX

送り先	住所	
	氏名	
	TEL	のし(要・不要) ・要の場合()

			配送地域別送料	
白米	9kg	袋×4,650=	円	北海道 430円
分づき米	9kg	袋×4,650=	円	東北 870円
玄米	9.9kg	袋×4,650=	円	関東・信越 930円
				東海・北陸 980円
				関西 1,080円
				四国・中国 1,300円
				九州 1,360円
小計	袋		円	※沖縄、離島は別途お問い合わせ下さい

FAX(011)613-9323

数量に限りがございますのでお早めにお申し込み下さい。

- お支払い方法 (番号を○で囲んで下さい)
- 現金 (代引きはお取扱いしておりません)
 - 銀行振込

振込先 札幌信用金庫 琴似支店(普)
口座番号 4297231

特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ
こころや 理事 我妻 武
(振込手数料はお客様負担となりますのでご了承下さい)

※発送は入金後となります

総合計(品代+送料) 円

..... お買い求め・配送のお申し込みは



こころや

札幌市西区琴似2条5丁目3-5マンションMOM01F
TEL:011-614-1871 FAX:011-613-9323

今年もやってきました
そばめんの季節!!!

長崎島原名産

蔵田 本格手延べ

島原手延そば

ひやむぎ



「細さ」
「舌ざわり」
「こし」
伝統の味わいを
心ゆくまで
お楽しみ下さい。

① ひやむぎ/麦作
化粧箱・1500g詰(150g×10束)
包装外寸=297×240×39mm
標準小売価格 1箱 ~~3,780円~~
2,600円



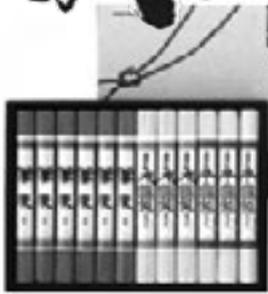
② そめん/夏ごころ
化粧箱・1800g詰(50g×36束)
包装外寸=318×220×42mm
標準小売価格 1箱 ~~4,920円~~
2,900円



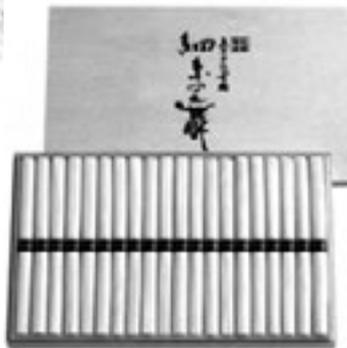
製造元
島原手延素麺協同組合

発売元
NPO法人札幌障害者活動支援センターライフ
共働サービス たねや
〒063-0804
札幌市西区二十四軒4条6丁目5-32 テラ二十四軒1階
TEL×613-0611 FAX 644-0088

④ うどん・そば
/麺のしらべ
化粧箱・1560g詰(130g×12束)
手延べうどん(丸)130g×3束
手延べうどん(平)130g×3束
そば130g×6束
包装外寸=313×235×34mm
標準小売価格 1箱 ~~4,800円~~
3,050円



③ そめん/細糸の舞
桐箱・2000g詰(50g×40束)
包装外寸=335×210×47mm
標準小売価格 1箱 ~~5,760円~~
3,640円



島原の手延べそばめんは、全国の生産量の約三割を占め、現在では、全国のデパートで夏の売れ筋商品として、発売されており、私共の商品は、三六〇年に及ぶ島原の手づくり技術の粋をつくしたものでございます。
食すれば口の中で舞うがごとく、のど元を流れ、舌ざわり、こし、のどの通り、どれをとりにしても、ご満足頂けるものと存じます。
又、味付け、調理法とも工夫次第で色々なおいしさが発見できます。
暑い夏、島原の手延べそばめんを食べて、すっきりさわやかなひと時をお過ごし下さい。
長い伝統と独特の技術で製造された島原手延べそばめんは、ご家庭で、また、ご贈答品としては最適と存じます。

《おうちのそば》

手延べそばめんひやむぎ
多めの沸騰したお湯にめんをパラパラと入れ、軽くかきまぜます。
お好みのゆで加減を確かめてザルに上げてよく水洗いして下さい。
尚、ゆで上がり後はなるべく早く目にお召し上がり下さい。

●そばめん
ゆで時間は2分程が標準です。

●ひやむぎ
ゆで時間は4分程が標準です。火を止め、3分程むらしませます。

手延べうどん・そば

釜揚げの場合はそのまま、冷やして食べる場合はよく水洗いして下さい。
尚、ゆで上がり後はなるべく早く目にお召し上がり下さい。

●手延べうどん(丸タイプ)
ゆで時間8分程むらし時間4分程

●手延べうどん(平タイプ)
ゆで時間5分程むらし時間2分程

●そば
ゆで時間5分程

商品注文書

No.

お支払方法をお選び下さい(番号を○で囲んで下さい)

1. 現金 (代引はお取扱いしておりません)
2. 銀行振込 / 北洋銀行 琴似中央支店 (普)口座番号: 4616684
 特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ
 共働サービス たねや 理事長 我妻 武
 (振込手数料はお客様負担となりますのでご了承下さい)

FAX(011)644-0088 入金後の発送となります

品名	値段	個数	金額	備考	
① ひやむぎ・麦作	2,600円	個	円		
② 夏ごころ	2,900円	個	円		
③ 細糸の舞	3,640円	個	円		
④ 麺のしらべ	3,050円	個	円		
商品合計金額	円	送料	円	総合計金額	円

※送料は、市内・道内は5個まで1件につき550円、道外は1000円負担になりますのでご了承ください。

6個以上は5個毎に250円の追加料金がかかります。(離島・沖縄は実費送料が必要です)

※全て消費税込みの金額となっております。

太枠内のご記入をお願いいたします

■お名前フリガナと郵便番号・電話番号(市外局番を含む)は必ずご記入下さい。

申 込 者	住所	〒		
	フリガナ	-----		
	名前			
	電話		FAX	
お 届 け 先 ①	住所	〒		
	フリガナ	-----		
	名前			
	電話		商品番号	商品名
お 届 け 先 ②	住所	〒		
	フリガナ	-----		
	名前			
	電話		商品番号	商品名

ご注文内容・送料・お支払方法のご確認をお願いいたします

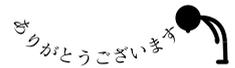
※取り扱い事業所

NPO 法人 札幌障害者活動支援センターライフ
担当事業所 共働サービス たねや

TEL:011-613-0611 FAX:011-644-0088

Mail:taneya@npolife.net

🎉 ご協力ありがとうございます 🎉



寄付金

今井 孝子 様 服部 宗弘 様 佐藤 剛 様 和島 正博 様
織本 英子 様 THE人生ズ 様 匿名希望 様

共働農園基金

吉田 節子 様 服部 宗弘 様 福田 敏夫 様

維持会費

あしの会理事長 古川 美佐江 様 福田 敏夫 様

アドボケ購読料

吉田 節子 様 小林 郁子 様 太田 隆男 様 今井 孝子 様 服部 宗弘 様
現田 友明 様 山内 徹 様 高橋 めぐみ 様

私のオススメ

池井戸 潤 著「ルーズベルト・ゲーム」

蘭結管理者 笠井 衛二

池井戸潤の作品は「下町ロケット」に大感動したが、この作品「ルーズベルト・ゲーム」も期待通りの面白さ満載であった。

内容的には努力が勝つ予定調和が融資、開発、派遣などを混ぜ込んで現代風で心地よい。

池井戸作品はあの半沢直樹の「倍返し」で脚光を浴びたが、私は「倍返し」という言葉は大嫌いだ。所詮は銀行員の権力争いなのに正義感で粉飾するとは、と憤ってしまう。

「ルーズベルト・ゲーム」はTBSで最近ドラマ化され放映された。主人公の社長は唐沢寿明の他、山崎努、香川照之、江口洋介等と豪華

な俳優が出演している。

この「私のおすすめ」稿を書くため再読したが、ページを進める度に演じていた俳優の顔がちらつき、最悪な小説となってしまった。

初版で読んだ時は自分の想像で登場人物に思いを馳せ面白く読了を楽しんだが、今回は俳優の顔でイメージが拘束され、狭く薄い陳腐な劇としてしか感じなかった。

小説は自分の想像力で読め、の一言ですな。



～ライフカンパのお願い～



NPO札幌・障害者活動支援センターライフでは、設立して25周年を越えたところですが、これまで何かが行動を起こす時に目標を設定してカンパのお願いをしてきました。しかし、この2,3年皆様方にライフ運営資金のためのカンパをお願いしてきています。ここ数年続く世界的な不況で仕事量は減っており、ライフの運営が厳しくなっていることも事実です。そこで、大変恐縮ですが、ライフの運動に共感する皆様方からの応援を是非ともお願いしたいと思います。

◆ 振り込み先

北洋銀行	加入者名	琴似中央支店 普通預金 4606735
		特定非営利活動法人
		札幌障害者活動支援センターライフ
		理事長 我妻 武
札幌信用金庫	加入者名	琴似支店 普通預金 3296744
		特定非営利活動法人
		札幌障害者活動支援センターライフ
		理事長 我妻 武
ゆうちょ銀行	加入者名	振替口座 02710-4-63485
		NPO札幌・障害者活動支援センターライフ

編集後記

本誌面でも時々登場くださり、また、ご自身のHPでライフのことを紹介してくださっていた大谷強さん（元関西学院大学教授）が亡くなられたと連絡があった。大谷さんはライフ前理事長の深澤さんが中心となっていた会の勉強会にも何度かお越しにいただいていた。関西弁で歯切れがよく、おかしなことには容赦なくバツサリと切る。しかし、かならず温かい視線で人を見ていた方だった。制度の改正などでも「誰もが」というフレーズに、本当にそうなのだろうかと疑問を投げかけていた。ライフが目指している社会的事業所についても、厳しくも、期待をしているとメールを頂いたことが思い出される。再会は叶わなかった。合掌。（タケ）

アドボケイト 水無月号 (第163号)

2014年6月10日発行 (毎月10日発行) HSK通巻第507号

1973年1月13日第3種郵便物認可

発行人/北海道障害者団体定期刊行物協会(HSK)

編集人/NPO法人札幌障害者活動支援センターライフ

理事長 我妻 武

〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5マンションモモ1F

TEL 011-633-6666 FAX 011-613-9323

E-mail honbu@npolife.net

ホームページ <http://npolife.net/>

郵便振替口座 02710-4-63485

定価 100円